

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立東井高野小学校

令和8年4月

大阪市立東井高野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本校の教育目標「豊かな心を育み、自らの能力を伸ばすたくましい子どもを育てる。」の達成には、児童にとって学校が「楽しい」と感じられる場であることが前提となる。しかし、大阪市小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の質問に対して、毎年8%程度の児童が否定的に回答しており、すべての児童が安心して学校生活を送れているとは言えない状況がある。この背景には、いじめや不登校等の課題も関連していると考えられることから、家庭や関係諸機関と連携しながら、児童一人ひとりが安心感をもって過ごせる学校づくりを推進する必要がある。
- 規範意識や自己有用感の醸成、他者尊重の態度や将来を見据えた自己イメージの形成には、自己肯定感の育成が不可欠である。しかし、「自分には良いところがある」と肯定的に回答する児童の割合は依然として十分とは言えず、自分に自信をもてずに学校生活を送っている児童も見られる。今後は、体験活動や集団活動の充実を通して、一人ひとりが自らの良さを実感できる機会を計画的に設定していく必要がある。
- 本校では、火災や地震等を想定した避難訓練を実施し、防災に関する基本的な知識や行動の定着を図ってきた。しかし、訓練が形式的になり、児童一人ひとりが主体的に「自らの命を守る」という意識を十分に高めるまでには至っていない。また、災害の状況に応じて適切に判断し行動する力や、自助・共助・公助の視点で考える力の育成にも課題がある。今後は、各種訓練のねらいを明確にし、事前・事後の学習を充実させることで、児童が主体的に考え行動できる力を育成し、防災意識を高めていく必要がある。
- 大阪市小学校学力経年調査においては、国語の平均正答率が全市と比較して十分とは言えず、基礎的・基本的な学力の定着に課題が見られる。また、学習に対する主体的な取組や学習習慣の定着にも課題があり、自ら計画を立てて学習に取り組む力の育成が求められる。さらに、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり広げたりする力にも個人差が見られることから、「わかる授業づくり」を基盤として、言語活動の充実や主体的な学びの実現を図る必要がある。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査においては、体力面では概ね良好な結果が見られる一方で、運動やスポーツに対する意識には差があり、運動に親しむ児童とそうでない児童の二極化が見られる。また、規則正しい生活習慣の確立についても、家庭環境等の影響を受けやすく、継続的な指導が必要である。すべての児童が運動や生活習慣の重要性を理解し、日常的に実践できるよう支援することが求められる。
- ICT機器や一人一台端末の整備により、日常的にICTを活用した学習環境は整ってきているが、調べた情報をもとに課題解決を図る力や、情報を整理・表現する力の育成には課題がある。今後は、ICTを効果的に活用した学習活動を計画的に位置付け、学習の質の向上につなげるとともに、情報活用能力の育成を図る必要がある。
- 教育活動を安定的に推進するためには、教職員が心身ともに健康で意欲的に職務に取り組むことが不可欠である。しかし、業務の多様化に伴い負担感が増している現状も見られることから、業務の精選や働き方の見直しを進めるとともに、教職員が働きがいを感じながら児童と向き合う時間を確保できる環境づくりが求められる。
- 読書活動については、学習基盤としての重要性が高い一方で、読書に対する関心や習慣には個人差が見られる。学校図書館の活用や読書活動の充実を通して、読書に親しむ態度を育成し、学力向上の基盤づくりにつなげていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度までの大阪市小学校学力経年調査における国語の平均正答率について、同一母集団の経年比較において、対全国比で各学年とも毎年0.01ポイント以上向上させる。
- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和11年度の校内調査における「自分で課題を決めて自主学習(予習・復習など)に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること)が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 「ゆとりの日」を週1回以上設定する。年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上とする。さらに、学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に各3日以上、年間で計10日以上設定する。
- 教職員を対象としたストレスチェックにおいて、「仕事の量的・質的負担」に関する項目を大阪市平均以下とする。
- 令和11年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 大阪市小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合を91.6%(昨年度同調査91.5%)以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85.5%(昨年度同調査85.4%)以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 大阪市小学校学力経年調査における国語の平均正答率について、同一母集団の経年比較において、対全国比で各学年とも前年度より0.01ポイント以上向上させる。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。
- 校内調査における「自分で課題を決めて自主学習(予習・復習など)に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(朝食を毎日食べること)「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること)」が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。
- 「ゆとりの日」を週1回以上設定する。年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上とする。さらに、学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に各3日以上、年間で計10日以上設定する。
- 教職員を対象としたストレスチェックにおいて、「仕事の量的・質的負担」に関する項目を大阪市平均以下とする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

大阪市立東井高野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○大阪市小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合を前年度(昨年度同調査91.5%)以上にする。 ○大阪市小学校学力経年調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(昨年度同調査85.4%)以上にする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】 職員全体でいじめの早期発見や、不登校傾向にある児童についての共通理解に努める。また、関係児童への細やかな対応・配慮を行えるよう、学校全体で指導・支援体制を整える。 (いじめへの対応)(不登校への対応) 指標 「心の天気」を毎日実施し、「相談機能」を含めて複数の職員で確認し、児童の心の変化に素早く対応できるようにする。また、これらの情報を共有し、個に応じた指導・支援方法の手立てを組織として考え、共通理解する生活指導報告会を、毎学期複数回実施する。	
取組内容②【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】 災害など緊急事態において、自らの命を守るための避難行動をとることができるよう、目的意識をもった防災教育を推進し、防災への意識を高める。(安全教育の推進) 指標 火災・防犯・地震・津波を想定した避難訓練を年間3回、引き渡し訓練を1回実施する。各訓練の前後には、自分たちができることについて考える時間を設ける。また、各教科等で、災害や防災に関係する学習を行う際には、各クラスで児童の発達段階(学年)に応じて、自助、共助、公助についての話をする。	
取組内容③【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】 児童会行事の充実、児童のたてわり(異学年交流)活動の充実を図り、児童にとって楽しい学校生活ができるようにする。(不登校への対応) 指標 ・児童会を中心に、児童会行事やたてわり活動の際に、がんばったことや良いことを褒めて自己肯定感を高めるフィードバックを行う。 ・全学年が関わるイベントを3つ以上行う。また、全学年が学年間の交流を系統立てて1回以上行う。	
取組内容④【基本的な方向番号2、豊かな心の育成】 校外学習やゲストティーチャー招聘、遠足・社会見学などの学習機会を充実させる。また、児童が将来の夢や目標、自己有用感を持つとともに自他を尊重する心を育む。 (キャリア教育の充実) 指標 校長経営戦略予算も活用し、校外学習やゲストティーチャー招聘、遠足・社会見学などの学習機会を、全学年で年間複数回実施する。また、学期ごとや行事ごとにキャリアパスポートや振り返りシートを活用し、児童が自己の成長を振り返る機会とする。	
取組内容⑤【基本的な方向番号2、豊かな心の育成】 教育活動全体を通じて、発達段階に応じた系統的な人権教育を実践し、児童が社会の様々な人権課題に対する正しい理解と認識を持てるようにする。(人権を尊重する教育の推進) 指標 人権教育年間指導計画に基づいた取り組みを学期に1回以上行い、年度末に成果と課題を共有する。	
取組内容⑥【基本的な方向番号2、豊かな心の育成】 教育活動全体を通じて、全児童の参加感を高めることで、自他の尊重を育み、「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」を推進する。(人権を尊重する教育の推進) 指標 校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対する肯定的に回答する児童の割合80%を目指す。	

大阪市立東井高野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における国語の平均正答率について、同一母集団の経年比較において、対全国比で各学年とも前年度より0.01ポイント以上向上させる。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。</p> <p>○校内調査における「自分で課題を決めて自主学習(予習・復習など)に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「規則正しい生活(朝食を毎日食べること)」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>校内研究において、昨年度までの研究を活かした「主体的・対話的で深い学び」に焦点を当て、授業の充実と改善を図る。(言語活動・理数教育の充実)(「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標 研究主題『共に「わかる」・「できる」・「楽しい」を実感できる授業づくり』に迫るために、各部で計画を立て、教職員一人ひとりが実践、検証、修正を行い、取り組んでいく。月1回以上部会を開き、進捗状況を確認して研究を進めていく。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>さまざまな学習の中で、「自分の思い」や「自分の考え」を伝え合うための対話や交流を取り入れ、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる授業づくりを行う。(「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標 言語力を活かした対話と交流をするために、さまざまな学習の中で話し合い活動に週1回以上取り組む。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学校全体として、系統立てて学習規律や基礎学力の定着をはかる。(「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標 学年部会を月1回行い、学力向上に関する取り組みの進捗状況の確認を行う。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業で学習したことを振り返ったり深めたりするために、引き続きプラスノートを活用し、家庭学習の習慣へとつなげる。(「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標 プラスノートの取り組みを週1回以上行う。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>運動に親しむ機会を設けたり、用具の充実を図ったりして、進んで体力づくりに取り組めるようにする。(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p> <p>指標 学期に1回以上の運動週間や運動に関する取り組みを実施する。また各クラス週1回以上みんな遊びを実施し体力の向上を図る。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>子どもの規則正しい生活や早寝早起きについての意識を高める。(健康教育・食育の推進)</p> <p>指標 健康な生活に関する意識を高めるため、保健だよりを年10回以上発行し、学期に1回以上の保健指導を行う。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>朝ごはんの大切さを知り、朝ごはんを食べると生活リズムが整うことや、一日の活動への充実につながることを理解する。(健康教育・食育の推進)</p> <p>指標 朝ごはんの大切さについての健康教育、食に関する指導を年間1回以上する。さらに、通信を年間1回以上発行し家庭への啓発を行う。</p>	

大阪市立東井高野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p> <p>○「ゆとりの日」を週1回以上設定する。年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上とする。さらに、学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に各3日以上、年間で計10日以上設定する。</p> <p>○教職員を対象としたストレスチェックにおいて、「仕事の量的・質的負担」に関する項目を大阪市平均以下とする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号6、教育DX(デジタルフォーメーション)の推進】</p> <p>学習者用端末を活用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組を行う。(ICTを活用した教育の推進)</p> <p>指標 学期に1回以上、学習者用端末を活用した調べ学習などを行う。また、整理しまとめたことを発表したり掲示したりする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>授業時数、校務分掌および業務内容の見直しを行い、業務の平準化・削減を図る。また、会議時間の短縮(資料の事前共有・ペーパーレス化)やICTの活用により、勤務時間内の業務完遂に向けた取り組みを推進する。(働き方改革の推進)(教員の資質向上・人材の確保)</p> <p>指標 時間外在校等時間の平均を、前年度比で3%削減する。また、「ゆとりの日」を週1回確実に実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教育の質を維持・向上させるために、心理的安全性の高い職場づくりを推進し、業務改善に関する意見を出しやすい環境を整える。また、ストレスチェックの結果や管理職による声かけ・面談を通して、個々の業務負担の把握と支援を行う。(働き方改革の推進)(教員の資質向上・人材の確保)</p> <p>指標 業務改善に関する取組を学期に1件以上実施する。また、管理職による全教職員への声かけ・面談を学期に1回以上行う。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向番号8、生涯学習の支援】</p> <p>学習内容に応じて、学校図書館の本を活用し、調べ学習に取り組む。必要に応じて、市立図書館と連携し、団体貸出などを利用する。(「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組)(学校図書館の活性化)</p> <p>指標 学校図書館やその蔵書を活用した授業を年1回以上行う。また、読書タイムなど、毎週1回以上、本に親しむ時間をつくる。</p>	